

6月市議会が始まります

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2016 - No.4

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス <http://www.jcps.s.jp/>
メール yksf5@jcps.s.jp

静岡市議会の6月定例会が、6月21日から7月12日までの日程で開かれます。



今回の議会は、静岡市、焼津市の連携
中枢都市推進モデル事業6500万円
等が提案されています。本会議で、集
約連携型都市構造について、市民の暮
らし目線の観点から、行政サービスを
どう向上させるのかなど質します。
また、熊本地震を受けて、静岡市も
地震防災対策をどう見直し・強化させ
るのか、重要な課題です。日本共産党
は、下記のように5議員全員が本会議
で質問する予定です。みなさんの傍聴
をぜひお願いします。

6月定例会会議・各委員会日程

会期 6/21～7/12(22日間)
会場 静岡庁舎本館

- 本会議
6/21 (火) 午前10時より
- 総括質問
6/29 (水) 午前10時より
6/30 (木) 午前10時より
7/ 1 (金) 午前10時より
- 委員会
7/5 (火) 午前10時より
・厚生委員会
・観光文化経済委員会
・都市建設委員会
7/6 (水) 午前10時より
・総務委員会
・企業消防委員会
・市民環境教育委員会
- 本会議 (最終)
7/12 (火) 午前10時より



6月議会での質問



●6月30日(木) 午後2時頃
山本明久議員
・集約連携型都市構造について



●7月1日(金) 午前10時頃
鈴木せつ子議員
・小中一貫教育について



●7月1日(金) 午前10時30分頃
寺尾 昭議員
・大谷小鹿地区まちづくりについて
・「ゴミ屋敷」対策について



●7月1日(金) 午前11時30分頃
西谷博子議員
・清水LNG火力発電所計画に対し、
市民が不安に感じている問題について



●7月1日(金) 午後3時15分頃
内田りゅうすけ議員
・地震防災対策について
・桜ヶ丘病院について

※時刻は審議の状況により前後する場合があります。

おしゃれな津波避難施設「いのち山」が完成

市議団はこのほど津波対策として、清水区三保に完成した「いのち山」を視察しました。高さ6m、上部は500人が収容できる広場になっています。地元企業が土地を提供しました。近くに鉄骨造りの津波避難タワーも建設されています。



清水区三保の「いのち山」

常任委員会における活動

厚生委員会（鈴木せつ子議員）

介護保険改悪により、来年度からこれまで受けていたサービスが受けられなくなったり、国民健康保険も運営の広域化により、せつかく引き下げた保険料が跳ね上がる恐れもあります。今年度は負担増やサービス削減をさせないため、しっかり審議します。



総務委員会（山本明久議員）

審議する補正予算は、①静岡市と焼津市の連携中枢都市圏協約に基づくモデル事業②職員4600台のパソコンの不正アクセスメール対策、です。



市民環境教育委員会（西谷博子議員）

主な審議項目は、①地球温暖化対策啓発事業（1000万円）②小中一貫」教育準備事業（105万円）です。小中一貫教育については多くの問題点があるため、慎重な審議が求められます。



観光文化経済委員会（内田りゅうすけ議員）

登呂遺跡出土品重要文化財指定記念事業として900万円が提案されています。事業内容は、今年秋までに、登呂遺跡出土品の土器や木製品など775点が、重要文化財に指定される予定になっています。この価値を再発見するためのシンポジウム等が計画されています。

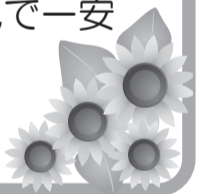


また、日本平動物園入園券をコンビニエンスストア等で事前販売し、入園客の増を図るための予算30万円も計上されています。

企業消防委員会（寺尾 昭議員）

小学校のプール35杯分 雨水貯留管が完成

下川原地域は大雨のたびに浸水の被害に遭い2003年、2004年には大きな被害に見舞われました。今度完成したのは、地下に一時雨水をためるための貯留管です。内径が4.0m、長さ1,110m、貯留量は13,200㎡、学校のプール35杯分の施設です。国道150号の地下にできました。先日完成式典が行われ、私たち市議団も内部を見学しました。住民の皆さんもこれで一安心です。



国民平和前行進と共に

今年も平和行進を共に歩きました。「安保法制を一日も早く、廃止させよう」「平和な地球を子どもたちに引き継ごう」「核兵器廃絶を」など訴え、沿道からも暖かい応援や募金が寄せられました。

市長、議長からもメッセージが寄せられました。



清水LNG火力発電所建設に危機感

JR清水駅から400mしか離れていない場所に、170万kwの巨大火発電設計画に対し、「空気を汚さないで」、「巨大地震が想定されている、危険物はいらない」、「子どもの喘息が心配」など、市民のデモが初めて行われました。参加者は100人を超えました。

